

## ニカラグア内政・外交定期報告（２０１２年９月・１０月）

２０１２年１１月  
在ニカラグア日本国大使館

### １． 内政

#### （１） １１月の統一地方関連

- ・ ９月 ６日 最高選挙管理委員会（ＣＳＥ）は、統一地方選挙の最終的な候補者リストを官報にて発表。
- ・ １３日 マナグア高等裁判所は、UDCのＣＳＥによる選挙からの排除を見直す審査要求を却下。
- ・ １９日 ＣＳＥは公共の場におけるマニフェスト等の選挙プロセスの運営を国家警察に委任。
- ・ ２０日 統一地方選挙の選挙運動が公式に開始。
- ・ １０月 ２日 統一地方選挙の投票用紙の印刷を開始。
- ・ ３日 ＯＡＳが、統一地方選挙へ選挙監視団を派遣する予定である旨のコミュニケーションを发出。
- ・ １１日 ＯＡＳの選挙同行のための事前ミッションとニカラグア外務省及びＣＳＥの間で同意書（協定）に署名。
- ・ ２４日 アビレス国軍司令長官及びグラネラ国家警察長官が、統一地方選挙は２万人以上の警察・軍隊の警備体制の下行われることを発表。

#### （２） その他

- ・ ９月 ５日 国会において、生物多様性の保存・持続可能な使用に関する法案が可決。
- ・ １３日 FSLNの選挙対策チームのワーキングセッションにおいて、ムリージョ大統領府市民広報審議役が、２０１６年の大統領選挙のFSLN候補者がオルテガ現大統領であることを発表。
- ・ ２０日 国会において、モンテリオール議定書の修正を批准。
- ・ ２０日 国会において、石油精製所建設プロジェクト「ボリバルの至高の夢（"El Supremo Sueño de Bolívar"）」に関する特別法を採択。
- ・ １０月 ７日 オルテガ大統領は、１日に警察との衝突で拘束された４１名のタクシー運転手を８日に解放する旨発表。
- ・ １１日 Cid-Gallup社及びM&R社が統一地方選挙等に関連する最新の世論調査結果を発表。
- ・ １７日 国会において、ILOの家事労働者の労働基準を定めた条約を採択。
- ・ ３０日、国会において、元兵士への保障に関する特別法案の大枠を可決。

## 2. 外交

- ・ 9月 3日 ニカラグア外務省は、アジアに駐在する名誉領事を集め会議を開催。
- ・ 4日 国会において、エクアドル議会で採択されたアサンジ氏問題にかかる英国からの威嚇を拒絶する決議を支持する声明を採択。
- ・ 6日 国会において、ベネズエラの大統領選挙プロセスを支持する声明を採択。
- ・ 7日 オルテガ大統領は、コロンビアにおける和平プロセス開始への支持を表明。19日には、国会において、コロンビアにおける平和のための対話を支持する声明を採択。
- ・ 7日 ニカラグア政府は、香港の中国企業と両大洋間運河建設に関するメモランダムに署名したことを発表。
- ・ 12日 大統領府は、11日にリビアのベンガジで起きた米国に対するテロ行為を非難し、米国に連帯を表明する公式声明を発表。
- ・ 25日 国連総会出席のためニューヨークに外遊中のサントス外相は、オバマ大統領主催レセプションにおいてオバマ大統領夫妻と会談。
- ・ 27日 グラネラ国家警察長官は、ロシア政府との協力関係強化のためロシアへ外遊。
- ・ 28日 国連総会において、サントス外務大臣が一般討論演説。
- ・ 10月 8日 オルテガ大統領がチャベス・ベネズエラ大統領の再選に祝辞を発出。
- ・ 11日 ニカラグア外務省は、カリブ海海域におけるニカラグア船籍に対するコロンビア側からの威嚇行為を批判するコミュニケを発出。
- ・ 19日 ハレスレーベンス副大統領は、ワシントンにおいて、インスルサOAS事務局長と会談。
- ・ 26日 ニカラグア政府高官と米国政府高官は、コロンビアのカリにおいて通商を含む多岐にわたるテーマについての会談。
- ・ 26日 ニカラグア政府は、ハリケーン「サンディ」により甚大な被害を受けたキューバへの連帯と支援を表明。

(了)